

道路空間が変わる… 人と環境を繋ぐ道づくり

— 賑わい創出と地域発展に貢献する道路舗装技術の活用 —



道路は今、車が通るだけの場所から、人が歩き、集い、地域の魅力を高める空間へと役割が広がっています。
「ほこみち」などの制度を背景に、本資料では、まちづくりや賑わい創出に活用できる道路舗装の技術や素材を整理し、地域と連携した道路活用のヒントをまとめました。

何気ない日も夢に向かって励む日も
考えたことはないだろう。

道建協 中期ビジョン2025
人とクルマ、地球に優しい道づくり



道路舗装のことなんて。

でも、それでいい。

私たちは、“当たり前”を作っているのだから。

IT'S NOTHING SPECIAL.

当たり前をつくる。舗装をつくる。

道路舗装で、夢も日常も支える。

「この道が繋ぐみんなの未来」

JRCA 一般社団法人
日本道路建設業協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-12-7 八丁堀トーセイビルⅢ
TEL : 03-3537-3056 FAX : 03-3537-3058
URL : <https://www.dohkenkyo.or.jp/>

ここよりアクセス



どうろほそう

検索

一般社団法人 日本道路建設業協会 i-Pavement 推進本部

本部長 西田 義則

WG3 (異分野連携)

WG 長 阿部 長門

委員 佐藤 正憲 小澤 一元 渋谷 武彦 吉田 耕貴 草刈 憲嗣 平川 一成 山岸 宏
浅井 友章 藤井 政人 郭 慶煥

(オブザーバー) (一財)計量計画研究所 毛利 雄一

【サポート】技術委員会 新技術開発部会

小関 裕二 山田 義人 口分田 渉 本間 圭一 坂本 寿信 吉野 敏弘 前田 秀和 伊藤 薫
鎌田 孝行 長谷川 淳也 北添 慎吾 門脇 佳弘 江向 俊文 平井 克政

(2026年3月31日現在)



道路空間が変わる…
人と環境を繋ぐ道づくり

2026年5月発行

編集・発行 一般社団法人 日本道路建設業協会

本資料は、道路を**地域の魅力や賑わいづくりに活かす**

ための、**舗装技術やアイデアをまとめたガイド**です。

結節点 (ハブ機能)

人や物の輸送において、複数の同種あるいは異種の交通手段の接続が行われる場所を指します。これには、鉄道、バス、自家用車、自転車、歩行者など、さまざまな交通モードが含まれます。新たに電動キックボード、電動自転車、電動車椅子、自動配送ロボット、自動運転サービスなどの多様化により移動範囲が拡大します。



新たな空間整備に向けて



新たな空間整備としては、新たなデザインカラー舗装、路面型太陽光発電の舗装技術、情報技術やバイオ技術の自然発光植物の導入等の交通結節点の空間整備、歩行者中心のウェルビーイングな道路空間、自転車中心のミディウムスピード道路、無電柱化を含む歩行者や新たなモビリティに対応した空間整備と道路空間活用、歩道用お掃除ロボットや都市OSとの連携等の新技術が挙げられます。



賑わいの道路空間

歩行者利便増進道路（ほこみち）制度により、道路空間を街の活性化に活用し、歩道にテーブルやベンチを置いてゆっくり滞在できる空間が増加します。また、緑空間や景観のデザインが明るくなり、カラフルで居心地もよい空間が広がります。



海外と国内の道路空間整備

米国全州道路交通運輸行政官協会（AASHTO）が公表した歩行者、自転車に関するガイドを整理した内容も盛り込むなど、「海外の先進事例を日本にも当てはめられるようにしています」

～海外・国内の事例をピックアップ～

